

# 新・テーブル小説

## 「君と白昼夢」

### 第一話・思い出して、あのときめきを……☆

蝉の声を聞くと、私は思い出すことがある。それは真夏の海だったり、澄み渡る青い空だったり、揺れる夏草だったり……そんな爽やかなものばかりじゃない。輝きやときめきの裏に潜むあの感情、本当は眩しいはずの気持ちなのに、しまっておかなくさやって、私が私の中に鍵をかけようとする。

「お母さんにも聞いてみたらどうかかな？」  
「それもそうだね。ねえお母さん、こっちのドレスのほうがいいかな？」  
「え、どれどれ……」

ブラックアウトしている後席モニターに映った私は、あの夏の日の私と同じ人物と思えないほど老け込んで見えた。それは単に時が過ぎたからなのか、それとも隣にいる結婚を目前に控えた若い娘との対比からか。私にはどちらも違う気がしていた。だって、私より年上のおばあちゃんの世代だって、素敵な人はたくさんいる。私、もう枯れてる花なのかも。まあ冷静に考えれば、五十歳の今から、若い頃と同じように輝いて生きるなんて不可能に決まってる。この十年乗ったデリカと同じで、私も型落ち。価値なんて……

「やったあ！とうとう五十周年だ！」  
「！」  
諦めを想起し始めたならその刹那、大きな声が聞こえてきて私は振り返る。

「え……ここは……！」  
娘と夫と車の中にいたはずの私が、なぜか田舎の畑のど真ん中に立っていた。蝉の大合唱、川の流れる音。都会では耳にしない鳥の声。ここってもしかして……？

「変わった車だねえ、お宅の新車」  
「三菱デリカっていう新型車なんだ。娘も生まれたし、気合を入れてバリバリ稼ごうと思って買ったんだ」  
「お父さん！？」  
そう、ここは私の実家。十年前に亡くなった父が若い姿のまま、

私の誕生とともに購入したデリカと一緒にここにいた。あのデリカの助手席に乗って父と一緒に農協へ行き、帰りに商店でアイスクリームを買ってもらうのが夏の楽しみだった。

「おいおい、何突っ立ってるんだよ。今日はドライブの約束だぜ？と言っても、配送用のパンだけ」  
「あ、あなた！」  
父の姿に涙ぐんでいたら、今度は若い頃の夫が登場。いつの間にか場面は私の実家から、夫と出逢った小さな事務用品会社の事務所に変わっていた。夫は営業、私は事務員。時々配送用のデリカに乗って二人で得意先に行くことを、当時彼は『ドライブデート』なんて言っていた。夏は窓を全部開けてオープンカーみたいってはいやいだ。

「ママ、どうしたの？」  
「え……ドレスは？というか、幼稚園の制服！？」  
「幼稚園おくれちゃうよ」  
今度は新築したての我が家の前。さっきまでウェディングドレスを試着していた娘が、幼稚園の制服を着て、デリカスペースギアの中から話しかけてくる。結婚を機に免許を取得して、初めて運転したのがこの車だった。お盆で夫の実家に帰省した時、駐車場でパンパーをこすって夫に叱られたっけ。

「今までの五十年があるからこれからの五十年も輝いて生きられるんだ！」  
デリカの中で夢を見たみたい。デリカは私にいつも夢を見せてくれる。可能性という名の未来の夢を。

「今までの五十年。そうね。若さはなくなっちゃったって、デリカと一緒に歩んできた五十年が私にはあるじゃない」  
「お母さん？」  
「どうしたんだい、急に」  
びっくりしてる運転席の夫と娘。

「ねえ、これから北海道三菱のショールームに行ってみない？新しいデリカに試乗してみようよ」  
五十回目の夏、後何度巡り会えるかわからない夏。新しいデリカで色んな思い出を作って、輝きを取り戻さなくちゃ！だって人生、死ぬまで充実していたいから。

「お母さん？」  
「どうしたんだい、急に」  
びっくりしてる運転席の夫と娘。

「ねえ、これから北海道三菱のショールームに行ってみない？新しいデリカに試乗してみようよ」  
五十回目の夏、後何度巡り会えるかわからない夏。新しいデリカで色んな思い出を作って、輝きを取り戻さなくちゃ！だって人生、死ぬまで充実していたいから。

「お母さん？」  
「どうしたんだい、急に」  
びっくりしてる運転席の夫と娘。

「ねえ、これから北海道三菱のショールームに行ってみない？新しいデリカに試乗してみようよ」  
五十回目の夏、後何度巡り会えるかわからない夏。新しいデリカで色んな思い出を作って、輝きを取り戻さなくちゃ！だって人生、死ぬまで充実していたいから。

「お母さん？」  
「どうしたんだい、急に」  
びっくりしてる運転席の夫と娘。

# あなたにぴったりの車は何か？

## 車種のドキドキ♡チャート診断

矢印を選んで進むと、あなたにピッタリの車がわかるかも!?



**Aのあなた**  
楽しいことが大好きで、友達や家族を大切にしているあなた。ぴったりなのは、楽しさ間違いなし・8人乗っても広々快適に過ごせるデリカD：5です！

**Bのあなた**  
ちょっとリクールで流行りに敏感、そんなイマドキなあなたにぴったりなのは、この夏デビューした特別仕様車デリカD：5ジャスパーです！

**Cのあなた**  
一風変わった感性を持ち、人と違う生き方が好きなあなた。個性的なあなたには純正アクセサリパーツ充実のデリカD：5(一味違う7人乗り)がおすすめ！

**診断しなかったあなた**  
北海道三菱小樽店がこの夏最もオススメしたい車、それはデリカD：5ジャスパー。通常より更にワイルドになった外装がクール。SUVの機動力×ミニバンの積載力を持つD：5で、臆することない冒険へ。

※この診断はジョークです。

つづく



